

大谷学会 研究発表会

日時

10月23日(金)
13:00~16:10(開場12:30)

入場制限有り・事前申込制(学外者のみ)

会場

大谷大学講堂

〒603-8143 京都市北区小山上総町
(地下鉄北大路駅6番出口すぐ)

会場
案内図



西尾 浩二
大谷大学講師
[西洋哲学]

13:10~

幸福とは何か

—アリストテレス『ニコマコス倫理学』の幸福論—

幸福とは何か。よい人生とはどのようなものか。本発表では、心理学や経済学や現代哲学でも論じられている幸福をめぐる問題を、古代ギリシャの哲学者アリストテレスの『ニコマコス倫理学』にまでさかのぼって考察する。



江森 英世
大谷大学教授
[数学教育学]

13:50~

見えないものを見る力としての 数学的コミュニケーション能力

—仏教知識論「無形象・有形象知識論」における「形象」と「所知性」—

本発表では、数学的コミュニケーションにおける反省的思考と反照的思考の対象認識プロセスにおいて、見えないものを見る力とは何かという問いについて、仏教知識論「無形象・有形象知識論」を方法論として考察する。



井黒 忍
大谷大学准教授
[東洋史(中国近世史・環境史)]

14:40~

こ 生み出される「公」の水

—伝統中国の水をめぐる認識とその変容—

所有や利用、売買貸借など、水に関わる諸種の権利をいかに設定するかという問題は、歴史上のみならず現代においても人類が抱える重要な課題である。本発表では、伝統中国の事例を基に、「公水」という概念に着目し、水に対する認識とその変容の過程を明らかにする。



滝口 直子
大谷大学教授
[社会学・文化人類学]

15:20~

ギャンブル依存症対策から ギャンブル害低減への対策転換

—アドボカシーの立場から—

ギャンブルは楽しい娯楽である反面、多重債務や離婚、虐待などの深刻な問題の起因にもなる。最近、ギャンブル依存症対策が政策として示されたが、話者は、「ギャンブル依存症対策」という問題の捉え方そのものに疑問を抱くものであり、その問題点を指摘するとともに、「社会全体のギャンブル害を低減させる」ことを目標とする対策を提案する。

学外の方のご来場には事前の申込みが必要です。

出席をご希望の方の①氏名 ②住所 ③電話番号をご記入の上、電子メール、ハガキ、ファックスのいずれかでお申込みください。なお、電子メールおよびファックスの場合、標題には「大谷学会研究会参加申込み」とご明記ください。

事前申込先・お問合せ先

大谷学会 電子メールアドレス：o-gakkai@otani.ac.jp
ハガキ宛先：〒603-8143京都市北区小山上総町 大谷大学内
ファックス送信先：075-411-8159
申込締切日：10月16日(金) 必着
※申込者多数の場合は締切前でも受付を終了させていただきます

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご入場の際には

- ◎ ご本人またはご家族が息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、発熱や咳、味覚・嗅覚の異常等の強い症状の少なくとも1つ以上当日の朝からさかのぼって4日の間にある場合はご遠慮ください
- ◎ 身体的距離の確保、マスクの着用、手指の消毒をお願いいたします
- ◎ 開催が縮小・中止となる場合がありますので、大谷大学ホームページ等でのご確認をお願いいたします

詳しくは大谷大学のWebサイトをご覧ください。

大谷大学

検索